

半導体漫遊記 ③

湯之上隆

が高くなっていく。

技術者が技術開発で功績を挙げて昇進し、この技術者上の方がマネジメントを行っており、技術者よりもマネジャーの方が偉いと思われており、あなたも早くそうになりたいと思っており、そのような(現場や技術に疎い)マネジャーがうようよいないだろうか?

もしそうなら、あなたの会社は「組織のジレンマ」に侵されている。では、「組織のジレンマ」とは、一体、何なのか?

半導体は、ムーアの法則に従って、3年で4倍、集積化が進む。それに伴って、微細化が進み、技術の難易度が

進む、技術の難易度が

進んでいる。課長になると、技術から遠ざかると、ますます技術が傾向がある(その方が「偉い」と思われている)。その結果、無能化する課長が出現する。なぜなら、技術が得意であり、技術で功績があったから課長になったのであり、マネシメント能力があったる。一方、20年たってもいまだに課長に昇進せずに技術を開発している者もいる。つまり、

この10年間で微細化はさたとする。微細化はさたに進展し、技術的難度が増大している。10度はますます増大している。例の5人は、その後どうなったのである。10年前に課長になった者から部長が誕

る。この10年間で微細化はさたとする。微細化はさたに進展し、技術的難度が増大している。10度はますます増大している。例の5人は、その後どうなったのである。10年前に課長になった者から部長が誕

会社組織のジレンマ

技術功績者昇進の結末

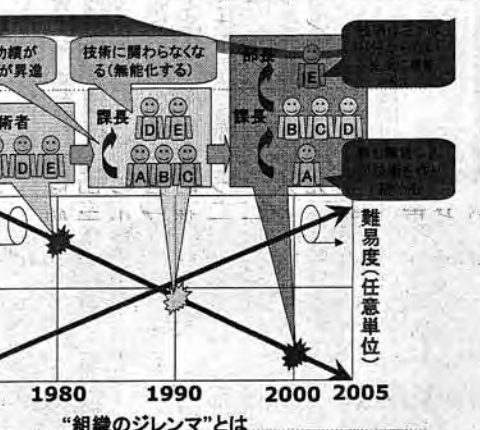
る。この10年間で微細化はさたとする。微細化はさたに進展し、技術的難度が増大している。10度はますます増大している。例の5人は、その後どうなったのである。10年前に課長になった者から部長が誕

技術が得意な者は短期間で技術開発の功績を挙げ、その褒美で課長や部長に昇進し、得意な技術ではないマネシメントが仕事になるが、そもそも、マネシメントが仕事になるが、



社団法人「科学技術と経済の会」の招待講演(11月8日)

演で、日本半導体産業も起きている」とおっが凋落した原因の一つ。しゃるのである。どうが、この「組織のジレンマ」という病気は、業ンマ」にあることを論マ」という病気は、業した。ところが、機種には関係なく、感染械、電機、自動車、化するようである。学などの会社の方々、あなたの会社は大丈が、「それと全く同じ。夫ですか?



微細化(ミクロン) 10, 1.0, 0.1